

JSS北海道 第11回地方会のお知らせ

実行委員長 鬼柳かおり（東旭川病院）
主催 JSS北海道地方会・日本超音波検査学会

装置提供：アロカ株式会社

JSS北海道第11回地方会を旭川市で下記のとおり開催いたします。

今回のテーマは「今更聞けない超音波検査の常識、非常識」です。あなたは、ご自分の検査手技に不安はないですか？今回は初心者から中級者を対象に、もう一度超音波検査の基本と向き合う企画を立ててみました。経験豊かな講師から超音波画像の見方・考え方はどこで差が出るのか、一枚の画像から得られる情報や押さえどころを学びたいと思います。学会・講習会では聞きにくいこと、教科書では解決されない疑問などを、是非この機会に解決しましょう。明日からの検査に自信がつき一歩進んだレポートが書けるはずです。第I部では一般演題発表を行いません。第II・III部では、腹部・循環器領域の講師によるご講演に続き、実際にプローブを握っていただきデモンストレーションを行います。この機会に各領域におけるエキスパートから検査に対するアプローチ法を学びましょう。第IV部では、皆さんからのアンケートや質問から抜粋した日頃の疑問について一緒に考えてみるセッションを設けました。今更聞けない常識、非常識を知るよい機会です。

多数の皆さんにご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

テーマ：『今更聞けない超音波検査の常識、非常識』

日時：2009年7月18日（土）14時00分～18時40分（受付：13時20分～）

会場：市立旭川病院 外来棟3階 大講堂

参加費：正会員（事前登録）：1,000円 正会員（当日受付）：1,500円 非会員（事前登録なし）：3,000円

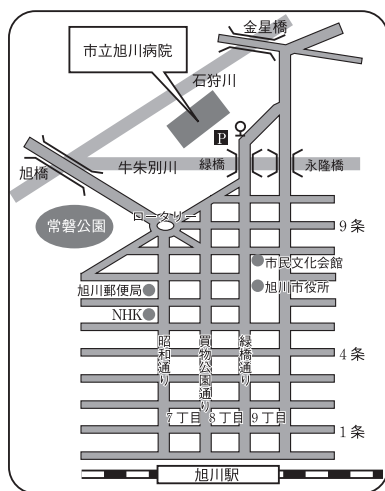
ご注意：*事前登録受付期間：2009年6月10日～6月24日（※2009年6月3日～WEB先行受付）定員：120名

*変更となる場合もあります。詳細は学会ホームページ（<http://www.jss.org>）をご参照ください。

*事前登録は登録時点で入会が承認されている会員の方のみご利用が可能です。

非会員の方や入会手続中の方はご利用いただけません。

*事前登録のみで定員に達した場合は、未登録の方の当日ご参加はお受けできません。



*申込状況はホームページの地方会のページをご覧ください。

*空席がある場合のみ当日参加をお受けいたしますが、受付開始は事前登録の方を優先させていただきます。

*地方会の参加には事前登録の有無に関わらず会員証をご持参ください。

*会場内でのビデオカメラおよびデジタルカメラでの撮影は禁止といたします。

*本会は、日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新、5単位が取得できます。

市立旭川病院外来棟3階 大講堂

北海道旭川市金星町1丁目

旭川駅より旭川電気軌道バス

12番……………15番のりば1条8丁目

22番88番……………19番のりば1条7丁目

8番……………9番のりば 宮下通8丁目

下車……………市立病院前（所要時間約10分）

連絡先：〒080-0805 北海道帯広市東5南9-2 帯広協会病院検査科 田村 悦哉

TEL: 0155-22-6600 E-mail: tamura@mail.jss.org（できるだけメールでお願いいたします）

JSS北海道 第11回地方会プログラム

7月18日(土)

| | |
|-------------|--|
| 13:20~13:50 | 受 付 |
| 13:50~14:00 | 開会挨拶・オリエンテーション |
| 14:00~15:00 | <p>第I部 一般演題 座 長：神 幸二 (NTT東日本札幌病院臨床検査科) 田村 悦哉 (帯広協会病院検査科)</p> <p>「加圧によるFMD計測に及ぼす影響」 井上真美子 (北海道大学病院検査・輸血部)</p> <p>「急性心筋梗塞発症21日後に乳頭筋断裂をきたした一症例」 芦川 美月 (北見赤十字病院生理検査課)</p> <p>「左房内腫瘍と鑑別が困難であった左房内血栓の一症例」 高井 理江 (旭川医科大学病院臨床検査・輸血部)</p> <p>「神経症状を契機に入院し精査加療中に、難治性心不全を呈した一症例」 佐藤 晶子 (旭川赤十字病院検査部)</p> <p>「不均質な充実性腫瘍として描出された大腸癌の1症例」 大村 雅子 (帯広協会病院検査科)</p> <p>「ソナゾイド造影超音波が有用であった症例について」 永沼 晃和 (旭川厚生病院医療技術部放射線技術科)</p> |
| 15:00~16:20 | <p>第II部 「腹部超音波検査の常識・非常識」(ハンズオンあり) 講 師：村上 和広 (エムエスエム) 司 会：鬼柳かおり (東旭川病院臨床検査科)</p> <p>日本超音波検査学会が提唱している標準化走査法の解説、計測法など、ルーチンに必要な様々な事例を豊富な経験をもとに解説していただきます。また、走査にて得た情報を臨床に正確に伝えるためのレポートの書き方などもアドバイスしていただきます。ハンズオンのコーナーでは、現在研修中の技師をその場で実際にご指導いただき、会場の皆さんと一緒に正しい画像の出し方を再確認していきます。</p> |
| 16:20~16:30 | 休 憩 |
| 16:30~17:50 | <p>第III部 「心臓超音波検査の常識・非常識」(ハンズオンあり) 講 師：田中 教雄 (国立循環器病センター生理機能検査部) 司 会：長瀬 雅彦 (市立旭川病院中央検査科)</p> <p>普段何気なく行っている計測方法に問題はないか、心機能評価はどのようにレポートを書いたらよいのかなど、今一度検査の基本に立ち返り、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。初心者、ベテラン問わず、それぞれが抱えている常識、非常識はどこに違いがあるのか見つけ直すよい機会です。また、ハンズオンについては心エコー初心者の技師が実際に検査を施行し、初心者を指導する様子を見て頂きます。どこがエキスパートと初心者の違いかを知ることが明日からのステップアップにつながります。</p> |
| 17:50~18:00 | 休 憩 |
| 18:00~18:40 | <p>第IV部 「超音波検査における疑問解決します ~エキスパートによるQ&Aコーナー~」 コメンテーター：村上 和広 (エムエスエム) 田中 教雄 (国立循環器病センター生理機能検査部) 司 会：戸田 康文 (旭川厚生病院医療技術部放射線技術科) 佐藤 賢哉 (旭川赤十字病院検査部)</p> <p>超音波検査における日常の悩み解消！日頃の忙しさに流されてしまった知識や技術を見直しましょう。事前アンケートまたはフロアーからの質問を元に、皆さんが日頃どう判断していいかわからない事、コツがつかめず悩んでいた事をこの場で解決してみませんか。明日から明るい気持ちで検査ができるようになることを各領域のエキスパートが保証します。</p> |